



にしもり のぶお 議員  
西森 信夫

今年の災害復旧が早く終わるように

# 問 町民への高度医療の対応は

## 町長 今後も医療連携システムの活用を

本町役場に

医療相談窓口は

問 町民への受診意向に寄り添った医療相談窓口はあるか。

町長 本町には医療相談窓口はないが、病気や健康上の相談に毎週火曜日を当て電話による相談にも対応している。また、特定検診や各種がん検診も実施し結果を見て保健師が受診や相談、指導をしている。

問 町の福祉保健課が、病気の相談に対して最適な病院の紹介や診療・予約などの業務を行えないか。

町長 町が直接医療相談



山林川被災現場

を行ったり、医療機関への紹介や診療予約は行っていない。医療機関の中でも高度医療を担う病院と、かかりつけ医などに役割が分かれている。高度な医療が必要な場合は、医療機関同士での連携システムがあり、患者さんの症状にあった適切な医療を効率的に受けられるよう連携が図られている。

## 問 今年の雹害・水害対応は

### 町長 災害の早期復旧を最優先

災害現場の再整備  
検討も必要では

問 昔から沢地として水が流れ、40年50年ほど前に整備された排水路では現況の水量がのみに込めない状況である。対策を伺いたい。

町長 今年のように、6月7月の1カ月間に4度の災害級の降雨により被災している状況はこれまででなかった。今回の被害をふまえ北海道開発局に対し、紅葉川を中心に国営事業による排水路について、現在の雨量でも河川断面を確保できているかについての確認を要請している。結果によっては再整備も考えている。

問 号線を雨水が走り、傾斜に沿って水が畑に流入した事例があるが対策を伺いたい。

町長 取付道路の補装嵩上げの実施や土のうによる流入防止対策を各農家や町、保全会で講じてきている。それを上回る雨量で土のうを越えて畑に流入するような状況であり、畑からの土砂を含む雨水が道路排水や車道の導水柵を埋めてしまい越水し下流側の畑に再度流入したり道路の路肩を洗掘する状況であった。道路排水で耕作地の集中した表面水を処理することは現実的には難しい状況である。

問 早く復旧してほしいという要望があるが、

優先順位や業者の決定につき伺いたい。

町長 復旧は、第1に町民生活確保を最優先し、第2に次回降雨時に備え河川埋塞箇所の土砂上げ、第3に道路排水機能が損なわれている箇所の復旧となる。業者選定と復旧方法については、現場を確認し被害の大きいものから国の補助事業により復旧するもの、単独災害復旧事業で建設業者に発注するもの、直営で実施するものがある。今回の被災については、個所数が多く時間がかかっているがご理解願いたい。



西森議員の一般質問を視聴できます